

< あなたの治療について >

血内-ROM-PTCL-q4w

今回の治療は、ROM 療法という治療法で、イストダックス（ROM）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1日目と8日目と15日目に点滴を行います。この治療を4週間（28日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目	8日目	9~14日目	15日目	16~28日目
	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約15分						
	イストダックス (抗がん剤) 14mg/m <sup>2</sup>	点滴 約240分		お休み		お休み		お休み

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

イストダックスについて

白血球減少、好中球減少、リンパ球数減少、血小板減少、貧血 悪心、嘔吐、食欲減退  
味覚異常 発熱 疲労

特徴的な副作用について

イストダックスにおける

QT 間隔延長

「胸の痛み、動悸、胸部の不快感」などの症状

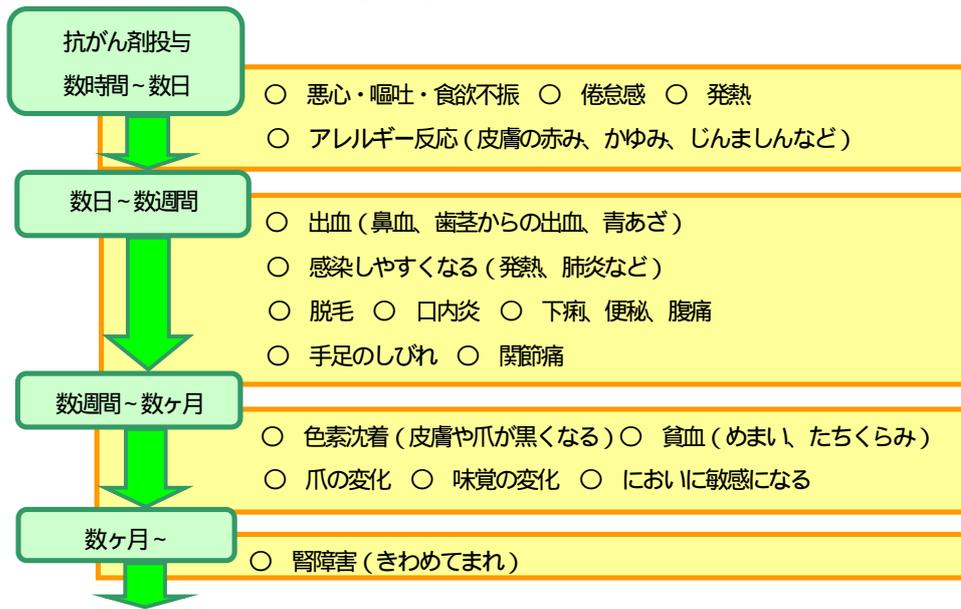
\* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

## 副作用の発現時期の目安

\*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



## 副作用の対策について

吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

## 薬品毎の副作用について(添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋)

**まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

### 【イストダックス】

<骨髄抑制>発熱、寒気がする、のどが痛む；口の中に白い斑点ができる；手足に赤い点(点状出血)または赤いあざ(紫斑)ができる、出血しやすい(歯ぐきの出血・鼻血など)；水のような下痢；口内炎；通常の生活をしていてだるさが続く、ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる、顔色が悪いといわれる、貧血症状

<感染症>熱が出る、身体がだるい、風邪のような症状。

<心電図QT延長>胸の痛み、動悸、胸部不快感、失神、頻脈

<腫瘍崩壊症候群>意識の低下、尿量が減る、息切れ

<重篤な過敏症>顔が赤く熱くなる、皮膚が痒い、蕁麻疹が出る、唇や舌・手足がしびれる、くしゃみ・咳が出る、気分が悪い、心臓がドキドキする、尿意や便意を生じる、喉がつまる、息が苦しい、目の前が暗くなる、低血圧

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。